

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		観光名所（従業員）	来客数の動き	・夏期休暇・お盆に伴い町内全体的に混雑した。駐車場も臨時を設けても足りない状態であった。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・上旬の台風の影響と臨時休業により週末の来客数が減少したが、平日は好調であった。台風の影響を除くと、来客数及び売上の伸び率は好調であった。また、購買客数・売上単価も堅調となった。外国船入港により外国人観光客も売上に貢献した。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・7月の夏のセールは苦戦したが、初秋まで着ることのできる定価の衣料品に動きがある。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数は前年割れが続いており、まだまだ力強さはないものの、売上は今月に入り、セール品を中心に前年比微増で推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年に比べ増加しており、プラス要因であるが、当業界は目的外の客が中心であり、客単価が下がっていることは大きなマイナス要因である。両方を勘案して売上が若干伸びているなかで悪いという状況ではないが、良いという判断もできない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月は、東日本と違い、九州南部では猛暑が続き、飲料・氷菓の売上が好調で前年比10%増であった。来客数、客単価共に上昇しており、順調である。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・夏の暑さのため、人の動きが悪いかと心配したが、山の日を含めた3連休やお盆休みで帰省客が多く、売上が伸びた。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・昨春の熊本地震の影響の反動で今年の4～7月は来客数、売上高共に前年を上回った。8月は熊本地震の影響は薄れたが、今月も来客数、売上高共に顕著に伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ホテルの稼働は先の予約も含めて好調であり、依然として外国人観光客を中心にした高需要を維持している。
		都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・夏休みでスポーツ団体、MICE、コンサート関係の客が非常に多く、また非常に良い単価で入っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・北朝鮮情勢も半ば慣れてきた感があり、韓国方面への需要が回復傾向にある。国内では、関西のテーマパークが好調だが、京阪神、東京は一昨年並みには戻っていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・年初めよりも若干上向き始めている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・運賃値上げにもかかわらず内外の観光客が多く、催事が極めて好調で活気にあふれていた。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・県内の観光業において大きな好材料となる事業の開始を控え、関連した業界に大きな経済効果をもたらしている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数はあまり変わっていないが、地元の客が多い。韓国・中国・台湾などからの外国人観光客も多いが、ただ通り抜けるだけで売上に全く貢献していない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今月は決して良くはない。衣料品が極めて厳しい。セールも厳しかったし、8月に入ると先買い層の秋物需要が出てくるが、今のところそういった様子がない。一方、高額品や外国人観光客による購入が好調で、差し引きゼロといった状況である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・衣料品販売は引き続き低調である。
	百貨店（店舗事業計画部）	販売量の動き	・熊本地震の影響で消費が敬遠された前年と比べ、夏休み中の消費はやや上向いたものの、必要なもの以外は購入しない傾向は続いている。一方で韓国や台湾の祝日に合わせてアジアからの観光客数が大きな伸びを見せ、売上の下支えをした。	
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・天候には恵まれたものの、あまりの猛暑で出控える客が多い。熊本地震から1年4か月が経過し、服飾、日用品など、取り急ぎ必要な物の購入が続いたが少し落ち着きを取り戻し、前年購入したので、今年は要らないと言う客が多い。	

百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・やや食品がけん引している。身の回り品は堅調に推移している。とりわけ今月は雑貨がけん引している。化粧品については、入港する船が前年比1.5倍になっており外国人観光客の影響で良くなっている。
百貨店（営業統括）	来客数の動き	・前年の熊本地震や記録的猛暑での大幅減に対し、今年は九州北部豪雨の影響があり、微増に止まっている。来客数、売上共に下げ止まっていない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・盆の買物を急いである様子が見られない。通常と変わらない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・決まった店舗で買物するのではなく、特売日によってそれぞれの店舗を使い分けている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・売上状況は全体的に前年並みであるが、衣料品はかなり厳しい。生鮮食品においては、鮮魚、野菜、果物の売上が前年割れの状況である。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・前年度は熊本地震の影響で競合店3店舗が営業中止していたが、今年度はその反動で、足下の来客数は前年比80.2%で推移している。贈答品は前年並みだが、総菜、精肉が風評被害で苦戦している。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・豪雨や長雨により飲料・乾麺・アイスクリームなどの季節商材の動きが悪い。
スーパー（統括者）	単価の動き	・原材料が上がっていても、最終的な販売単価をあげると売行きが大きく減少してしまう。小売業としては、原材料費や人件費の上昇を商品単価に上乘せしにくい状況にあり、客の価格志向はかなり厳しくなりつつある。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・山の日ができて、お盆休みが長期化し、少し売上が減り、影響が出た。
コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・売上も来客数も2～3か月前と変わらないが、午前中の方が客も多く、客単価も高い。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・7月上旬の九州北部豪雨の影響で、ますます客足が遠のくと予想していたが、予想に反しそこそこ来客がある。
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・客単価は上がってきているが、来客数が減少している。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・悪天候の要因もあり、季節商材が厳しい。8月は特にエアコンが苦戦した。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今年度になり新車販売台数が毎月前年を上回っている。8月も計画には届かないが前年実績は上回る見込みである。
住関連専門店（経営者）	それ以外	・都市部への販売促進活動は順調である。店舗での販売は来客数は少ないが、前年が悪かったせいか今月は順調である。
その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数は変わらない。売上も前年比でほぼ横ばいである。9～10月は気候にも左右されるが、若干寒さが増すようであればコーヒー飲料も出方が変わってくる。今後の展開としては来客数が若干増える。
ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・悪天候により一部店舗に影響は出たものの、当社が事業展開を行う地域では比較的天候に恵まれたこともあり、引き続き堅調である。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、さほど上下することなく安定した動きであった。8月は例年より気温が高くなり、燃料油及びカーケア用品の増販に期待したが、例年並みである。
その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（支配人）	販売量の動き	・7月は高気温の影響で、季節需要が拡大し、来客数、販売量共に好調に推移していたが、8月に入り、気温が低下するにしたがってやや停滞気味である。景気の変動するような大きな動きもなく、9月いっぱい状況が変わらない。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆休みがあったが例年に比べると良かった。ただ来客数は前月、前々月と比べるとかなり少なかった。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・変わらず低価格であるランチタイムの来客は安定しているが、高価格であるディナータイムの来客数が少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・7～8月はあまりに暑すぎて昼間の人の動きが悪かったが、夜になると夕涼みがてらに人の動きが少しあった。
タクシー運転手	来客数の動き	・お盆休みは帰省客が多かった。帰省客がいくらかお金を落としてくれたので助かったが、お盆が終わると元の状況に戻った。お盆にお金を使ったからということでもかなり落ち込みが激しい。

	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・季節変動を除けば、販売量は横ばいである。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・入場者数の動向は前年並みであるが週末は少しずつ増えている。平日は天候の影響もあり、直前のキャンセルも多く横ばいである。
	競輪場（職員）	競争相手の様子	・全国各地の売上状況に変化の兆しがない。
	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	それ以外	・8月の季節要因により、入院による利用者減が見込まれるが、状態的にサービスの担い手である社員の確保が厳しく、業績に影響を与えている。
	設計事務所（代表）	お客様の様子	・様子を見ている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・高齢者が多い商店街では連日の高温により日中の来客数が減少している。午前中の短時間の売上がそのまま1日の売上にしか結びつかない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・今年は11日からお盆休みに入り、来街客数が極端に減少した。非常に厳しい状況である。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・残業代が減ったという客が、節約志向になっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数が減少し、購買数も少なくなっている。購買意欲がない。
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・お中元も例年以下で終わり、売上は伸びなかった。お中元をやめる客が毎年徐々に増えている。政府の見解では景気は上向き傾向と評価されているが、小規模小売店は全くそれを感じない。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・台風や大雨の災害で、客の購買意欲が低迷し、期待した夏のセールは盛り上がりせず、加えて飲食テナントも競合激化の影響で客数と客単価が減少し、全体を押し下げている状況が続いている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・前年比で来客数減だが、それ以上に売上が悪い。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・外国人観光客を除く街角景気は、物販、飲食共に、良い話はほとんど聞こえてこない。
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・現在夏物最終セール中だが、その超破格値においても以前ならば3点購入していた客が1点や2点だったりと、購買点数が非常に減っている。
	家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・残暑は厳しいものの、台風以降季節商材の需要が落ち着き、来客数にも影響してきた。
	高級レストラン（専務）	単価の動き	・客単価が下がっており、数名で来店しても人数よりも少なく注文し、取り分けて食べている。来客数も若干減少している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・月の前半は前年よりもやや来客数が多かったが、中旬以降めっきり減り、単価も悪く景気がいい感じがしない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・プレミアムフライデーは街の飲食店には全く影響がない。
	都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・8～9月と宴会場は閑散期に入り売上が減り、宴会件数も少ないので景気は良くない。
	旅行代理店（企画）	販売量の動き	・7月より売上高が計画を下回っている。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・熊本地震の影響でテナントが入っていたビルが解体となり、新店舗の準備に入っている。客の様子は分らないが、いろいろなところを回ってみると美容室にあまり客が入っていない。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・5～6月に比べると8月は夏枯れの時期になり、当業界は少し悪くなる。昔ほど悪くはないが、以前に比べて景気の流れが減速気味である。景気対策の新しい手を打って欲しい。
	美容室（店長）	お客様の様子	・今年は特に暑く、外出を控えたようで、予想外に来客数は減少した。
	設計事務所（所長）	それ以外	・地方中堅スーパーの撤退もあり、市内に空き店舗が目立つようになった。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・周りは景気が良いという話だが、客の購入予算や返済はいまだに厳しい。住宅販売はもたついている。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場来場客数は前月とほぼ変わらないが、成約率がやや下がっている。
x	商店街（代表者）	来客数の動き	・気候が暑過ぎるのが商店街へ足を運ぶ客が少ない。特に高齢者の来街頻度が減っている。
x	商店街（代表者）	来客数の動き	・過去最高に悪い。前年より大幅に減少している。

	x	一般小売店〔青果〕(店長)	それ以外	・とにかく暑い。来客数もとても少なく、野菜の相場も高騰し、お盆前にはキュウリ5キロが1万円を超えた。そういったなかで需要がない上に相場が高いのでかなり厳しい状況が続いている。
	x	一般小売店〔鮮魚〕(店員)	お客様の様子	・とにかく魚が売れない。お盆過ぎが特に悪い。
	x	一般小売店〔生花〕(経営者)	それ以外	・店舗もなく仮店舗営業をしており、最悪の8月になると思っていたが、店舗改装のための造花の植え込みの大きな仕事が入ったので最悪の売上ではなかった。ただ、大きな仕事だけに月末締め、翌月末払いと支払が延びるので資金繰りが大変で、これからいつ再建できるかまだ分からない状況でもあり不安である。
	x	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・暑い日が続く買物に出てくる客が少ない。天候のせいなのか、欲しい商品がないのか分からない。
	x	乗用車販売店(販売担当)	お客様の様子	・価格を気にする客が増えている。安い時期に購入を即決できない客が増えている。
企業 動向 関連 (九州)		-	-	-
		農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・農作物の市況は春の底値から回復傾向にある。
		金属製品製造業(事業統括)	それ以外	・業界全体の人手不足が深刻である。当社の次年度新卒採用においても、例年以上に集まらない。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前から受注量が増えている。客もそれなりの予定を組んで動いている。この状況がもうしばらくは続く。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年8月の受注はお盆休みの影響で落ち込むが、今年は前月と同じ、もしくはそれ以上の見込みである。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・主要取引先の半導体製造装置メーカーにおいては今後も受注が好調である。
		電気機械器具製造業(取締役)	受注量や販売量の動き	・営業をかければ仕事は増える。価格よりも人繰りがつければ売上増も見込める。
		その他製造業〔産業廃物処理業〕	取引先の様子	・いろいろと引き合いはあるものの、原材料の調達が難しく、あまり生産量増加には至っていない。
		建設業(社員)	競争相手の様子	・競争相手の手持ち工事は、増えてきているようだが、まだまだ入札に対して競争が激しい。業者によってはまだ手持ち工事が少ないと嘆いている。官公庁の入札がほとんど抽選なので仕方がないと割り切っている。
		金融業(従業者)	取引先の様子	・この夏休み期間中、意外と天候が良かったため、宿泊業、観光業が例年よりも客数も伸びて良かった。
		金融業(得意先担当)	取引先の様子	・九州北部豪雨の影響で景気の落ち込みを懸念する客先が多かったが、足元ではその影響も限定的であった。
		金融業(営業)	取引先の様子	・建設、不動産などは活発な動きが見られる。製造業も設備投資はまずまずの水準を維持している。中国関連需要を中心として、世界景気は不透明であるが、今年初めよりも回復傾向にある。
		経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・今月は当地は非常に暑く、他県と比べると良かったが、お盆休みが長かったので締めるとそんなに良くなかった。全般的にどの業種も売上が良かった。
		その他サービス業〔物品リース〕(支社長)	取引先の様子	・決算の利益対策で節税意識は高い。即時償却物件のリース提案で金利競争にならずに、受注ができていく。風力、バイオマス発電などの再生可能エネルギー事業の事業投資意欲があるところもある。
		農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・8月は例年お盆需要で売上も大きく伸びるが、今年はお盆前に台風が来て1日工場を休まなければならなかったため、例年より1日分だが大きく落ち込んでいる。他の居酒屋、加工製造会社などについては計画どおりに動いている。
		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・夏場は受注が比較的少ない。
		家具製造業(従業者)	受注量や販売量の動き	・今月の受注額指数は平均値で着地しそうである。ただし前年同月の受注額は約8%減である。家具業界全体の売上規模は縮小傾向にあり、小売では全国チェーンのインテリア小売業大手企業の一人勝ちとなっている。これは、その他の家具販売業者の需要を食っているということで、裾野の家具販売業者は淘汰されつつある。
		建設業(経営者)	取引先の様子	・具体的な状況は変わっていない。

	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ 8月は天候不順のため夏場に動く飲料が低迷していたり、青果物に使用する段ボールの需要が減少した。しかし、輸入貨物は堅調な推移となっており倉庫は貨物でいっぱいである。月末にかけては荷動きが多少回復した。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ 荷主によっては生産量を増やしたため在庫増となっているところもあるが、前年比減となっている荷主もあり、全体をみればあまり変わらない。
	通信業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ マイナンバー制度にかかるシステム開発が一段落することで売上が横ばいの状況である。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・ 九州北部豪雨による宿泊予約のキャンセルが一部にみられるほか、住宅販売が頭打ち傾向である。一方、新車販売や、百貨店・コンビニエンスストアの売上が増加している。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・ 需資に変化はない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・ 中小企業を中心に人手不足が続いており景気が停滞する。
	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・ 他業種交流会における発表を参考にしている。
	経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・ 受注件数・金額及び問い合わせ件数に大きな変化が見られない。
	経営コンサルタント（社員）	受注価格や販売価格の動き	・ 安い商品の購買が進んでいる。
	農林水産業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・ 季節要因もあるが、荷動きに落ち着きが出てきた。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ ある地元での物産販売会を担当する事になったが、出店者がなかなかいない。売上採算性の問題である。
	繊維工業（営業担当）	それ以外	・ 今月は、暑さで体調が崩れたり、台風で休みを取ったり、基本的に子どもが夏休みで休みが多く、難しい状況であった。平均年齢も高くなっており、親が亡くなったり、孫が帰ってくるなど理由がさまざまである。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 前年比で受注残が2割前後落ち込んでいる。夏場にかけての天候の異変や、北朝鮮情勢、株価の下落など要因はいろいろあるが、受注が大変落ち込んでおり、秋口にかけて良くなると思うが期待できない。
	その他サービス業 [コンサルタント]（代表取締役）	取引先の様子	・ 建設コンサルタントや調査会社に対する市町村の委託業務は、6月補正予算で計上されているところが少なく、業務量も少ないため、入札時において、低価格競争になっている。この時期になると辞退するところや入札価格を高めにして応札する会社が多くなるが、まだ、安く入札する傾向にある。
	x	-	-
雇用関連 (九州)			
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ 求人件数は増加し、派遣賃金も上昇を続けている。派遣社員は新規求人の賃金が上がっているため、流動化の傾向が強まり、そのことがより一層の求人件数増加につながっている。賃金を上げて募集しても採用につながらないことも多く、外部委託などの人員採用以外の手法で人員不足を補うことを検討する企業も増えてきている。
	人材派遣会社（社員）	それ以外	・ 出演者の派遣を行っているが、CMの出演者手配の依頼が増えた。予算的に高くはないがCMを制作する企業が若干増えてきている。
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・ 欠員での募集も増えているが、増員での募集が目立ち始めている。また、障害者雇用を企業も望んでいるが、なかなか難しいとのことで、当社へ紹介予定派遣で問い合わせをしてくる企業も数件見受けられる。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・ 純粋な派遣枠の増員依頼は少なく、派遣枠の中での派遣会社の交替案件が続いている。
	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・ 求人の人が集まらないので、これまで人に頼っていた業務をITで合理化したり、機械化したりする話が出始めている。
	新聞社 [求人広告]（担当者）	それ以外	・ 九州北部は猛暑で、季節商材やレジャー施設も活発になり消費も伸びて景気も良くなったと思っただが、暑過ぎて人の動きが止まってしまった。良い面も悪い面もあった。

	職業安定所（所長）	求人数の動き	・サービス業を始めとして人手不足業種とされている事業所からの求人が続いており、高い求人倍率が維持されている。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・バブル期を超える売手市場となっていることから、在職中の求職者がより良い労働条件を求めて登録する例が増えてきている。ただし、もともと希望者が少ない建設業や介護看護などの福祉分野や警備・運輸などの業種への希望は少なく、人材確保に苦労している。
	職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・引き続き求人数の増加がみられ、管内の有効求人倍率は高い水準で推移している。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・求人数が横ばいである。契約終了者が微増している。
	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票の受理件数は、同数程度である。今後、福祉関係の求人は増加する見込みである。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・8月はお盆休みの連休が入り、求人活動は鈍い。
x	-	-	-